

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 | 目標達成状況(任意) |
| 1 | 4 | より良いケアを提供するためのミーティングに、日々の気づきやケアのアイデア介護計画に充分反映されていない現状がある。また、計画に沿った日々の記録量が少ない。 | 職員からの気づき・アイデア等をパソコン記録上に残し、介護計画を立案する際、そのデータを介護計画に反映する。また、職員への周知を行っていく。 | 1. 日々の心身状態変化及び本人の言葉や職員間にてケア向上に繋がる内容や気づきについてパソコンに入力する。 2. 些細な利用者の言葉や動作を見逃さず報告・申送り記録ノートに記録する習慣を身につける。 | 6 か月 | |
| 2 | 10 | 暮らし中で人としての尊厳をもち、言葉使いや態度が、ホーム内の質の標準まで達していない状況にある。 | 自らが言葉やケアの姿勢に着目し、ホーム内共有スペース(トイレを除く)以外は、個人プライバシーが守られる居場所であることの自覚を持ち日々の業務を遂行する。 | 1. 居室・トイレに入室する時は、必ず利用者に声かけを行い許可を得て入室する。 2. 人として尊厳を守り、ケアを行う時は、一人ひとりに声かけとケアの方法を考慮する。 3. 職員相互にて、日々の言葉かけやケア内容について話し合う機会をもつ。 4. 接遇について、書面或いは研修において振り返りの機会を設ける。 | 6 か月 | |
| 3 | 37 | コロナ禍において、家族と利用者が気軽に会える状況となっていない。家族や友人との交流が感染対策の中、一緒に過ごせる時間に限りがあり、双方満足できる環境ではない。 | 家族や友人との交流を設備・備品等の創意工夫を行い、できるだけ一緒に過ごせる時間の確保を行う。 | 1. 運営推進会議及び機器関連会社にて、機器について幅広く情報を得る。 2. 利用者及び家族に画像動画によるコミュニケーション方式の導入について、アンケート調査を行う。 3. 機器を使い、画像を通してコミュニケーションを図る。 4. 空調を考慮できる設備の導入を検討する。 | 6 か月 | |
| 4 | 51 | 地域において認知症を有する施設であることの周知が行えていない現状がある。地区住民として地域交流の妨げになる可能性がある。 | 柿原地区の住民に広く、「認知症を有している人々が暮らしている場所」である事が周知できる。 | 1. 運営推進会議にて広報活動の伝達を行う。 2. 柿原地区広報活動を開始する。 3. 地区回覧にグループホームラポールの紹介を行う。 4. 柿原地区住民に対して、四季折々の行事見学・参加等の案内を回覧に掲載する。 | 6 か月 | |

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。
注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。
注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。
注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。